

ロンドン・ブックフェア 2027	1
オックスフォード大学出版 AI セミナー	1
図書館総合展 2026 出展社募集中	1
マンガ編集・ライツ担当育成セミナー	2

ロンドン・ブックフェア 2027 ジャパンプース実施決定、出展社募集開始

(一社)日本書籍出版協会(書協)は、ロンドン・ブックフェア(LBF) 2027にて、ジャパンプースを出展することを決定し、同ブースに出展を希望する出版社等の募集を開始する。2027年のLBFは、その年の最大注目テーマとして設けられるマーケットフォーカスに日本を掲げ開催する。

マーケットフォーカスとは、テーマ国を設け、その国に対し、グローバルな出版コミュニティの幅広い世界に触れる機会を創出し、グローバルに活躍する出版社や著作権交渉に関わる人々を含む世界的なライセンサーに呼びかけ、テーマ国に対する理解・ビジネス強化、ネットワーキングの拡大を支援する取り組み。

また、今回のLBF2027ジャパンプースは、文化庁の未来のトップクリエイター支援事業の枠組みで出展する。今回のジャパンプースへの出展料金は、正規料金に比べ金額的な負担の軽減を図り、募集する。

■ LBF マーケットフォーカス・ジャパンプース概要

会期: 2027年3月16日～18日

場所: [Excel London](#)

出展料: 50万円(1社・1商談セット)

募集数: 15社(予定) ※定員に達し次第募集終了。

募集期間: 2026年6月5日～8月末

対象: 文芸書・実用書(日本料理・日本文化・思想を含む)・児童書・人文自然科学等専門書・教育・育児・マンガ・イラスト・グラフィックノベル等

対象: 日本国内の出版社・出版関連企業・団体等

出展相談: メールタイトルに「LBF2027年ジャパンプース出展相談・申込」と明記の上、下記連絡先にメール送付
(問合せ 書協 ☎ jbpa.international@jbpa.or.jp)

オックスフォード大学出版局 AI ライセンスセミナー

昨今の状況において出版社は、商業的機会と著者の懸念、

そして従来のライセンス基準とのバランスをどのように取るかという点で、ますます難しい立場に置かれている。

オックスフォード大学出版局(Oxford University Press = OUP)では、直近のAIおよび大規模言語モデルの出版業界における新たなライセンス形態について、幅広く実務的・経験的な観点から、OUPのAIライセンスに関する指針を共有するとともに、これらの機会を提示された際に注意すべきポイントや、今後のライセンス基準の形成において出版業界がどのように主導的役割を果たしていけるかについての考え方を提示するセミナーを日本書籍出版協会・会員社限定で開催する。

日時: 2026年6月22日(月) 10:00～12:00

会場: 日本出版クラブ(4階会議室・予定)

対象: 書協会員社(無料)

人数: 先着50名限定

テーマ: テーマ: AI時代におけるライセンス
～ OUPの取り組み事例報告～

登壇者:

ザック・バーク氏(Zach Burke) オックスフォード大学出版局(英国) オックスフォード・ランゲージズ部門シニアIPソーシングマネージャー

的場美希氏(Miki Matoba) オックスフォード大学出版局 アカデミック部 部長

詳細・申込先: <https://forms.gle/4Csdz9ZYKCN2AmiD8>

(問合せ 日本書籍出版協会 TEL 03-6273-7061)

図書館総合展 2026 出展社 募集中



今年の図書館総合展(主催: 図書館総合展運営委員会)は、10月20日～22日の本展(パシフィコ横浜)、10月13日～11月13日に図書館総合展月間が開催される。

昨年2期に分けて開催したオンライン会期は「図書館総合展月間」の1期にまとめ、前半にプレ企画(予習や準備会など)を主にオンラインで、後半にはフォローアップやアーカイブ公開などを、また毎年好評の「会場会期前

後の図書館見学会」などを行う。

本展は、図書館関連業界の国内最大のトレードショーであると共に、最大級の交流イベントとして、今年で第28回を迎え、図書館とその関連領域、博物館・美術館、文書館、大学、研究機関等を来場者、その方々に対し働きかけを行う企業・団体等を主な出展者に想定し、展示会場とフォーラム会場を提供する。

【会期】

- ・本展（会場）：10月20日（火）～22日（木）
- ・図書館総合月間：10月13日（火）～11月13日（金）

【会場】パシフィコ横浜アネックスホールほか

【出展種目】

プランは、「一般・団体向け」「アカデミック向け」「出版社向け」にわかれており、主な種目は下記の通り。

- ・会場出展（会場ブース+ Web ページ提供）
- ・オンライン出展（Web ページ提供のみ）
- ・ポスターセッション（会場+オンライン）（オンラインのみ）

【出版社向け】

- ・「図書館へのおすすめ本」専用注文書への書誌情報掲載
- ・会場開催、パシフィコ横浜へのブース出展
- ・オンラインプラン（Booksession 出展）

詳細：<https://www.libraryfair.jp/news/2026-03-04>

現在、説明会のアーカイブ動画と資料を公開しているほか、個別の相談にも対応。

[説明会のアーカイブ・資料](#)

【申込み】

会場利用を伴う出展申込締切：7月3日（金）

出展申込み方法・出展に関する詳細：[こちら](#)

（問合せ 同事務局 E-mail：libraryfair@edupress.co.jp）

BOOK MEETS Next 2026

説明会アーカイブ

BOOK MEETS NEXT2026（同運営委員会事務局＝JPIC・一般財団法人出版文化産業振興財団）は、年間を通じて様々な企画、プロジェクトをおこなっているが、メイン企画が秋の読書推進月間にあわせて10月24日（土）～11月23日（月）に開催される。

今年も地域連携イベントや出版社特別企画などを通じて、より多くの読者が書店での本との出会いを増やすこと

を目指している。

企画の募集はすでに締め切っているが、協賛金の協力は6月末まで受け付けている。また、4月28日に行われた説明会のアーカイブ配信が公開されており、下記 URL より視聴可能（資料も同サイトに掲載）。

詳細：<https://www.jpic.or.jp/bookmeetsnext/>

（問合せ JPIC Tel 03-5211-7282）

文化芸術活動基盤強化基金

マンガ編集・ライツ担当育成セミナー

文化庁の補助金により独立行政法人日本芸術文化振興会に設置された「文化芸術活動基盤強化基金」のもと、次代を担うクリエイターや専門人材等の国際的な活躍を視野に入れたクリエイター等支援事業が展開されている。

本プログラムでは、特に成長著しい北米市場をターゲットに、国内外セミナーや現地出版社との商談を経て、翻訳・ローカライズ・契約・プロモーションといった“実務スキル”を備えた編集者とライツ担当者の育成と、3年間でライツ担当者や編集者が自ら海外展開を推進できる体制づくりを支援する。今回は、第4回目となる国内セミナー（オンライン）を6月12日（金）に開催する。本セミナー対象者は、国内の出版関係者、特に編集業務とライツ業務従事者に限る。

■セミナー概要

目的：ライツ担当者および編集者を対象に、海外出版ビジネスの実態と展望について、海外にて多くの日本IP 版權展開事業に従事している講師による講演を通じて学ぶ。

日時：6月12日（金）14:00～15:30

講師：伊藤聡氏（株式会社紀伊國屋書店）、五十嵐正孝氏（株式会社トーハン）、島野浩二氏（株式会社双葉社）

内容（予定）：

第1部・海外での和書販売の仕組みと成功事例

第2部・米国紀伊國屋書店における販売傾向と企画事例

第3部・三者鼎談

参加方法：[こちらのフォーム](#)より申込み

定員：先着 300名（定員に達し次第締め切り）

費用：無料

（問合せ 海外 MANGA 人材育成委員会事務局

✉ kmji-support@kmh.kadokawa.co.jp）

出版統計

書籍	4月期	前年同月比	1～4月期	前年同期比	書籍出回り	4月期	前年同期比	1～4月期	前年同期比
新刊点数	5,595点	3.5	20,942点	▲1.1	推定出回数	4,967万冊	▲4.5	23,151万冊	▲5.7
新刊推定発行部数	1,837冊	▲6.6	7,201万冊	▲5.4	推定出回金額	676億円	▲3.1	3,196億円	▲3.5
新刊平均価格	1,398円	2.6	1,408円	3.2	推定出回平均価格	1,360円	1.5	1,381円	2.4
新刊推定発行金額	257億円	▲4.1	1,014億円	▲2.4	実売部数	4月期	前年同期比	1～4月期	前年同期比
月刊誌	4月期	前年同月比	1～4月期	前年同期比	書	3,407万冊	▲5.2	15,954万冊	▲6.1
発行銘柄数	1,519点	▲5.5	2,030点	▲3.7	月刊誌	3,083万冊	▲14.4	12,591万冊	▲7.7
推定発行部数	5,678万冊	▲11.9	21,972万冊	▲8.6	週刊誌	864万冊	▲4.7	3,601万冊	▲11.6
平均価格	830円	5.9	828円	3.8	実売金額	4月期	前年同期比	1～4月期	前年同期比
推定発行金額	471億円	▲6.7	1,820億円	▲5.1	書	479億円	▲3.7	2,276億円	▲3.9
週刊誌	4月期	前年同月比	1～4月期	前年同期比	月刊誌	247億円	▲9.5	1,032億円	▲4.0
発行銘柄数	64点	▲3.0	67点	▲5.6	週刊誌	39億円	▲1.9	164億円	▲9.6
推定発行部数	1,903万冊	▲8.3	7,537万冊	▲10.8	実売金額合計	765億円	▲5.6	3,472億円	▲4.2
平均価格	476円	2.1	471円	2.4					
推定発行金額	91億円	▲6.3	355億円	▲8.8					

- 銘柄数：月刊誌は1ヵ月、週刊誌は1週間平均の発行銘柄数
 - 部数：配本されたと推定される部数。書籍出回り部数は新刊・重版の流通総量を表したものの。
 - 平均価格：部数を加味した加重平均価格（税別）
 - 金額：発行部数・出回り部数を価格で換算した金額
- [提供 出版科学研究所 (Tel 03-3269-1379)]

EVENT INFORMATION

■港区立赤坂図書館「造本装幀コンクール・パネル展示」
 期間：6月1日（月）～6月30日（火）
 場所：港区立赤坂図書館
 内容：第58回造本装幀コンクールの受賞作品をパネルで展示する
 問合せ：赤坂図書館（03-3408-5090）

■NPO本の学校・出版セミナー
 素朴な疑問から考える出版業界入門
 日時：6月10日（水）18:30～20:00
 形式：オンライン
 講師：飯田一史（出版ジャーナリスト・ライター）
 内容：「出版業界のしくみ」「出版流通の特徴」などを出版業界に新たに入った若手社員、業界経験の浅い方などを対象にした入門講座
 詳細・申込：https://eventregist.com/e/honnogakko_20260610
 問合せ：本の学校（0120-479-233）

編集後記

ロンドン・ブックフェア、フランクフルト・ブックフェア、パリ・ブックフェア。近年、海外から日本の出版物が注目されています。行政でも海外出版ビジネスにむけた助成を行うなど、力をいれています。国内外、出版の良さ・面白さを広めて行ければと思います。（あ）

一般社団法人 日本書籍出版協会

発行人：樋口清一

〒101-0051 東京都千代田区神田神保町1-32

TEL：03-6273-7061

FAX：03-6811-0959

Web サイトもご覧ください

<https://www.jbpa.or.jp/>